

10歳のわたしたちとSDGs

07

所 属	名古屋市立南陵小学校	実践者	植木 ゆうな
対 象	小学校4年生（24名）	実践日	2023年10月～2024年2月
実践教科	総合的な学習の時間	時間数	24時間
ねらい	・ SDGsについて知る。 ・ よりよい世界を作っていくために、今の自分ができることを考え、行動する。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1～6	★SDGsについて知ろう。 ・ 1学期に水資源について学習したときに出てきたSDGsを紹介する。 ・ 「ひろがれ！いろとりどりSDGsのうた」を歌う。 ・ SDGsすごろくをする。 ・ クイズ、資料を読むこと、動画の視聴を通して、どんなことが目標に挙げられているのかを知る。 ・ 食料や水、エネルギーなど生活でお世話になっている物を挙げ、自分の生活と世界の課題が関わっていることを知る。【ブレインストーミング】 ・ 17の目標カードを使って、班で話し合い、目標の仲間分けをする。 ・ 17の目標の中で、子どもにとって大事だと思う目標ベスト3と、大人にとって大事だと思う目標ベスト3を考え、友達と伝え合う。【ランキング】	★使用教材 ・ NHK「SDGs17目標のおぼえうた」 ・ 国連広報センター「すごろくでSDGsを学ぼう」 ・ 日本ユニセフ協会「SDGs CLUB」 ・ JICA「SDGsを学ぼう、SDGsで学ぼう！」 ・ JICA「共につくる私たちの世界」 ・ 図書室の資料
	7～14	★自分の関心をもった目標について調べてみよう。 ・ 本やインターネットを使って、自分の選んだ目標について調べる。 ・ その目標がなかったらどんな問題が起きるかを考えることで、目標の重要性を知る。【派生図】 ・ 自分の調べたことをスライドにまとめ、友達に発表する。	
	15	★未来の地球のために、わたしたちができることを考えよう。 ・ 10歳の自分たちが、今取り組めることのアイディアを思いつく限り書き出す。【ブレインストーミング】	
	16～22	★SDGsかるたを作り、ペア学級の2年生と遊ぶ。	
	23～24	★ここまでの授業で学んだことを保護者に向けて発表する。	
成 果	始めはどこか遠い国の問題だと捉えていた児童も多かったが、地球上で起きている問題を真剣に捉え、自分にできることを積極的に考える姿が多く見られるようになった。他教科の学習でも、「これってSDGsの～番に関係するね。」という会話が增えた。また、調べて終わりではなく、実際に行動に移すことができた。		
課 題	児童の中に地球上の課題への意識が強くあることを感じ、世界を肯定的に捉えるためのアイスブレイクを途中から行ったが、カリキュラムとして、最初に「世界を知ることは楽しい・面白い」と感じられるように構成する必要があると考えた。SDGsというテーマは4年生までの学習内容を考えると難しい項目も多くあった。		
備 考	毎時間、最初の5分～10分程度の時間を使い、話し合いの基盤づくりのためのアイスブレイクや、多文化を知ることができるアクティビティを行った。		